

特集

鉄道に乗ろう

●問合先 まちづくり課公共交通対策係 (☎23-2114)



市民レポーター紹介



島田 美代子 さん

◆プロフィール

伊万里市民と考える地域交通会議や男女協働参画懇話会の委員などを務めており、ふだんから市政に関心があります。

本市には2種類の鉄道が走っています。国鉄が分割民営化され、一つは九州旅客鉄道が運行を引き継いだJR筑肥線、もう一つは沿線住民の要望を受けて、沿線自治体が運営を支援し第三セクター方式により発足した松浦鉄道です。

「マイカーを利用すれば問題ない、今はそうかもしれませんが、乗れなくなったらどうしますか。」

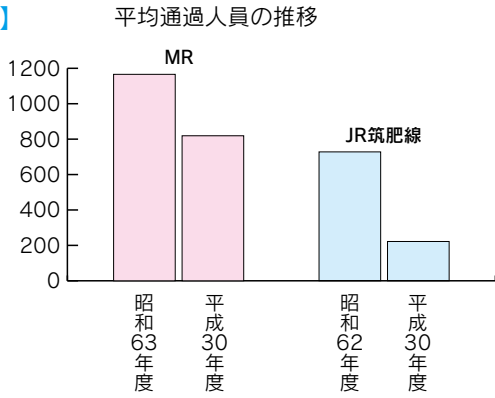
今回の特集では、『伊万里市民と考える地域交通会議』委員の島田美代子さんが、市内の鉄道の現状と利用者の声などを紹介します。あなたの子どもや孫が使うはずだった移動手段が失われる前に、『そのうち』ではなく『今』、公共交通について真剣に考えてみませんか。

このままでは危ない。鉄道の厳しい現状

昔と今の推移

マイカーを所有している人の増加などを背景に、公共交通の利用者数の減少が進んでいます。

利用状況の比較の目安となる平均通過人員（1日1キロメートル当たりの乗車人数）と比較すると、松浦鉄道は昭和63年度は1166人の利用があったのに対し、平成30年



このため、鉄道事業者や沿線住民の皆さんとともに引き続き利用促進に関する取り組みを行っています。しかし、少子化などの進行により、利用者は減少傾向にあるため、一人一人の生活スタイルに公共交通の利用を取り入れる意識・行動も必要だと考えています。

利用促進の取り組み

伊万里市は、将来都市像を定めた『伊万里市総合計画』において、少子高齢化社会に対応した生活基盤としての公共交通の維持・確保に取り組んでいくこととされています。

実際に鉄道に乗って調査しました

現在、市内には唐津市方面のJR筑肥線と、松浦市方面や有田町方面へ延びる松浦鉄道があります。では、どのような人が、どのような目的で利用しているのでしょうか。JR筑肥線と松浦市方面へ向かう松浦鉄道に乗り込み、路線ごとの特徴などを調べてみました。都市部の路線に比べると当然、運行本数は少ないですが、利用者のニーズに合うような時刻に工夫されています。

両路線の紹介をしながら、乗客の皆さんに話を聞いた。乗車人数などの観察をしたりして、感じたことをレポートします。



「伊万里」乗り込み取材へ

乗り方はこうです

① 切符を買う

伊万里駅では時刻表で鉄道の出発時刻を調べ、路線図などで目的駅までの運賃を確認し、券売機で切符を買います。



無人駅の場合

切符が買えないため、そのままホームへ行きます。小銭を用意しておきましょう。

② 乗車する

ホームへ行き、ICカード以外の人は乗車するときに整理券を取ってください。発車したら、目的駅に着くまで車窓からの景色をお楽しみください。



③ 下車する

目的地に着いたら、運賃箱に料金と整理券を入れ、下車します。JR伊万里駅では改札口で料金を払います。また、MRでは、二モ力で払う方法もあります。



MRでは、全国相互利用交通系ICカードも利用できます。現金を持たなくても簡単に乗車できます。

ICカードでもっと簡単・便利に



島田さんのコメント

乗車している人の半数が通学のために利用している生徒でした。インタビューしたのは桃川・大川野・相知から通学している生徒。毎日利用している生徒以外にも、普段は市内の高校まで自転車通学で天気が悪い日だけ利用しているという生徒もいました。



大川野駅時刻表
(⇒伊万里駅方面)

6:01
7:12
9:11
12:37
14:58
16:42
18:04
19:15
20:52

※3月1日現在のダイヤ

■ DATA (伊万里駅 - 大川野)

所要時間	約 20 分
普通運賃 (片道)	280 円
通勤定期 (6か月)	40,620 円
通学定期 (6か月)	31,970 円

伊万里駅時刻表
(⇒大川野駅方面)

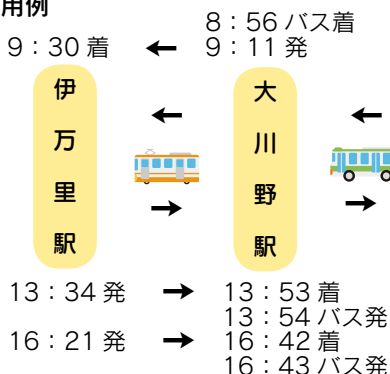
5:38
6:51
7:40
11:05
13:34
16:21
17:42
18:54
20:30

※3月1日現在のダイヤ

これに乗りました

■ 大川野駅でコミュニティすこやかバスに乗り継ぎ

活用例



駒 鳴

大川野

肥前長野

肥前長野駅の昔懐かしいレトロな駅舎



駅舎は昭和・平成、そして令和へと。昔ながらのたたずまいを残すため、大川町の長野区民によって守り続けられ、来訪者の目を楽しませています。

伊万里

上伊万里

金石原

桃川

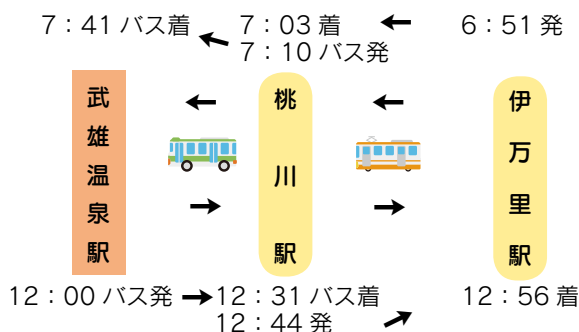


島田さんのコメント

運転免許を自主返納したため筑肥線を利用しているという高齢者。「マイカーが無くなって不自由になったが事故を起こす前に返納しました」と話される姿に「自分もいつかその日が来るだろう」と考えられました。

■ 桃川駅で武雄市コミュニティバスに乗り継ぎ

活用例



浦ノ崎駅時刻表
(⇒伊万里駅方面)

5:49
6:39
7:36
8:22
9:38
10:37
11:36
12:36
13:36
14:36
15:33
16:36
17:33
18:21
19:39
20:39
21:37

伊万里駅時刻表
(⇒浦ノ崎駅方面)

5:42
6:30
7:07
8:42
10:07
11:36
12:40
13:36
14:36
15:33
16:03
17:03
17:25
18:41
19:43
20:39
21:59

これに乗りました

※3月14日からのダイヤ

■ DATA (伊万里駅 - 浦ノ崎駅)

所要時間	約20分
普通運賃(片道)	440円
通勤定期(6か月)	88,730円
通学定期(6か月)	61,560円



浦ノ崎駅で『いまりんバス』の山代線へ乗り継ぎできます。
※平日の火・金のみ運行(年末・年始を除く)



浦ノ崎駅の桜
■ DATA

毎年3月下旬に『桜の駅まつり』が開催され、多くの鉄道ファンでにぎわいます。



佐賀県遺産『里小路の矢竹生垣通り』
■ DATA

里駅から徒歩2分



県天然記念物 青幡神社の楠
■ DATA

里駅から徒歩4分

島田さんのコメント

乗車している人は生徒や高齢者、若い社会人など、さまざまな年齢層でした。浦ノ崎駅から久原駅へ向かう80代の女性は、病院に週に一度、リハビリのため通院していました。また、30代の女性は運転免許は持っているが、松浦市方面への出勤や公休日に伊万里方面へ出かけるときなど、ふだんから利用していました。



伊万里駅時刻表
(⇒金武駅方面) ※3月14日からのダイヤ

5:15	13:09
5:56	14:07
6:17	15:09
6:44	15:55
7:11	16:21
7:38	17:03
8:02	17:30
8:45	18:12
9:28	18:42
10:21	19:18
11:06	20:06
11:33	20:53
12:18	21:21

■ DATA (伊万里駅 - 金武駅)

所要時間	約6分
普通運賃(片道)	230円
通勤定期(6か月)	47,850円
通学定期(6か月)	33,160円



■ 金武駅で二里町デマンド(予約制)タクシーに乗り継ぎ



※利用するには登録・予約が必要です。
平日の月・水・金のみ運行(お盆・年末・年始を除く)

金武駅時刻表
(⇒伊万里駅方面)

6:29	14:21
6:56	15:23
7:23	16:09
7:50	16:50
8:13	17:15
8:31	17:59
9:16	18:24
9:57	19:11
10:35	19:32
11:20	20:20
12:02	21:07
12:32	21:52
13:23	22:23

MRでは、3月1日から交通系ICカード『nimoca(ニモカ)』が供用開始となり、さらに便利になります。

nimoca



鉄道事業者に聞く ーもっと鉄道を利用してほしいー

鉄道の利用者が減少している事実。しかし、実際に通学・通院や買い物に利用している人がいるのも現実です。マイカー利用者にも鉄道を使ってほしい。両鉄道事業者から想いを聞きました。

MIR 松浦鉄道

松浦鉄道株式会社
営業部 川村 暢治

当社は、国鉄・JR松浦線を引き継ぎ、昭和63年4月に第三セクター鉄道として開業して以来、今年4月で32年目を迎えます。地域の皆様からは、通勤・通学・買い物・通院など、生活の足としてMRの愛称でご利用いただいています。JR九州との円滑な乗り継ぎもお客様の利便性の一つであり、3月14日（土）にJR九州の時刻改正に合わせた時刻改正を行います。また、3月1日（日）からは、全国共通交通系ICカード『nimoca』のサービスもスタートし、ますます便利になります。

近年は、有田・伊万里方面から松浦・平戸方面へ観光で旅行されるお客様も増えていきます。沿線には駅から歩いて散策できる観光スポットがたくさんあります。休日にMRに乗ってローカル線の旅を味わってみてはいかがでしょうか。

ー お得情報 ー

- 1日乗車券
松浦鉄道全線で、1日に何度でも乗り降りできる乗車券。ただし、JR線内は利用できません。
価格（税込）：大人 2,000円 小人（小学生）1,000円
- シルバー会員専用1日乗車券
満65歳以上であれば、シルバー会員1日乗車券がお得。松浦鉄道全線で1日に何度でも乗り降りできる乗車券。ただし、JR線内では利用できません。
価格（税込）：1,000円 入会金 1,000円
年間更新料 500円



九州旅客鉄道株式会社
唐津鉄道事業部本所（企画） 企画課長 福田 淳史

当社グループは「安全とサービスを基盤として九州、日本、そしてアジアの元気をつくる企業グループ」の実現に向けて、鉄道輸送の最大の使命である安全の確保に努め、サービスの向上と収支改善の取り組みを進めています。

現在、当社の基幹事業である鉄道事業は、少子高齢化や人口減少、他の交通機関との競争の激化により、明るい将来があるとは決して言えない状況にあります。伊万里市を走る筑肥線の利用者は年々減少しており、非常に厳しい状況に置かれていると感じています。

ふだん鉄道を利用されない方も、たまにはのんびりとした鉄道での移動を経験し実情を知っていただくことで、今後の地域交通のあり方を考えるきっかけとしていただければと思います。

ー お得情報 ー

- 旅名人の九州満喫きっぷ（3か月有効）
九州の全鉄道の快速・普通列車1日乗り放題が3回（人）分付いてきます。
※一部、対象外があります。
価格：大人 11,000円 小人 11,000円



レポートを終えて

今回取材を行って、時間帯によって差はあるものの、全体的に利用者は少ないと感じました。

しかし、鉄道を利用している人の大半は、自ら自動車を運転することができない生徒や高齢者という共通点があり、私たちがマイカーで移動するのと同じように、目的地へ向かう重要な移動手段として鉄道を利用されています。

その重要な移動手段を未来へつなぐために私たちにできることは何か。例えば、休日に鉄道を使って旅をすることなどが挙げられます。公共交通を利用することで、いつもと違った伊万里を再発見することができるともいえます。今回の取材を通じ、鉄道が多くの人たちの生活を支える移動手段であることを再認識し、鉄道利用を考えるきっかけとなりました。



市民レポーター
島田 美代子 さん